

ノルウェーجانクルーズライン
2024/25 シーズンにノルウェー جان スピリット初アジア太平洋地域へ配船
アジア太平洋地域へのコミットメント強化



ノルウェー جان スピリット

2023年9月5日(東京) - イノベーションで世界のクルーズ旅行をリードするノルウェーノルウェークルーズライン(NCL)が、全面改装を終えたノルウェーノルウェースピリットによる14クルーズを含む、寄港地重視型アジア太平洋地域 2024/25年シーズンのクルーズ日程を発表しました。日本と人気の韓国や台湾を訪れて各寄港地の魅力に浸れる9泊から14泊のクルーズまで、今回初めて実施される個性豊かなクルーズによる充実のラインナップです。

ノルウェーノルウェークルーズライン アジア太平洋地区ヴァイスプレジデント兼マネージング・ディレクターのベン・エンジェルは、「アジア地域により多くの船を導入してクルーズ選択肢を拡大することは、ソースマーケットとデスティネーションの双方でこの地域に対するNCLの確固たるコミットメントを示すものです。クルーズは、荷造りや荷ほどきに煩わされることなく魅力的な寄港地や充実した寄港地観光を満喫できる理想的な方法です。アジアはオーストラリアとニュージーランドの旅行者の間で大変人気のデスティネーションです。日本は私が個人的に好きな国のひとつ。この市場での選択肢を広げ、近場のクルーズを好むお客様のためにアジアクルーズを今後も継続してご提供していきます」としています。



ノルウェーجان スピリット

ノルウェーجان スピリットの [2024/25 アジアシーズンは 2024 年 9 月から 2025 年 4 月までの 8 か月間](#)。マニラ、シンガポール、台北、東京、ソウル発の 14 クルーズを実施。

JTB 総合研究所が 2023 年 8 月に発表した最近のデータ¹によると、日本人出国者数国別で韓国が 1 位、続いて台湾が 2 位となっています。ノルウェーجان スピリットの終日航海日を最小限に抑えた寄港地重視型の日程と魅力的なゴローカル寄港地観光ツアーで、日本の魅力的な寄港地と、人気の韓国や台湾を一度に訪れることができます。

ベン・エンジェル厳選 ノルウェーجان スピリットのクルーズハイライト:

[東京発着 12 泊クルーズ: 大阪、札幌、釜山 & 富士山](#)

2024 年 10 月 23 日発。日本の真髄、過去と現代の文化の融合を掘り下げてとらえるもの。ハイライトは食と文化の中心地である大阪/京都での 1 泊、江戸時代の建築や茶室が完璧に保存されている金沢、美しい自然と古くからの武家屋敷が残る秋田、泥湯などの温泉で癒される別府、そして韓国・釜山では静謐の仏教寺院と国際的都市のコントラスト。

[ソウルから東京までの 10 泊クルーズ: 大阪、高知、済州 & 富士山](#)

2025 年 3 月 13 日、韓国の首都ソウル(仁川)発。じっくり滞在したい大阪での 1 泊を含む 9 港に寄港。見どころは、韓国の済州島、ユネスコ生物圏保護地域に指定されている漢拏山の火山や世界最長の溶岩洞窟など迫力ある自然に。日本の観光地として最も人気の沖縄の那覇では複雑なアートや工芸品、中国の影響を受けた料理を楽しみ、清水では雄大な富士山が影を映す静かなベイクルーズも。

[ソウルから東京までの 12 泊クルーズ: 済州、名古屋 & 札幌\(小樽\)](#)

2025 年 4 月 2 日、ソウル(仁川)発。桜の季節の日本で、金沢の兼六園や金沢城公園、姫路城、東京の有名な公園などを訪れるこの時期限定究極クルーズ。

[ノルウェーجان スピリット](#)は乗客 2,000 人強の比較的小型の客船。大人専用のスパイス H20 プール、魅惑的なエンターテイメント、さらにはスチームルーム、サウナ、シャワー体験、タイル張りの温泉水ラウンジャーのあるサマースイートを備えた広さ 2 倍のマンダラスパなど魅力的な設備が整っています。14 か所の食の選択肢にはフレンチのル・ビストロ、コンテンポラリーイタリアンのオンダ・バイ・スカルペッタなど。



1億米ドル(NCL 史上最高額)をかけて船首から船尾に至る大規模改装を終えたノルウェー جان スピリットは、2022年/2023年就航シーズンにはオーストラリアとニュージーランドでその雄姿を披露しています。そして、[2023年12月から2024年3月にかけての地域2度目のシーズン](#)は現在予約受付中。オーストラリア東海岸、タスマニア、ニュージーランド、フィジー、バヌアツ、ニューカレドニア、タヒチなどを訪れます。

ノルウェー ジャン スピリットの 2024/2025 年クルーズの詳細は[こちら](#)から。

ノルウェー ジャンクルーズラインについて

ノルウェー ジャンクルーズラインはその 56 年の歴史を通して、常にイノベーターとしてクルーズに新機軸を打ち出してきました。特に、好きな時に食事ができ、様々なエンターテイメントが楽しめ、フォーマル着用といったドレスコードがないなど、ひとりひとりのゲストにとって理想的なクルーズバケーションを自由にデザインできる柔軟性は、クルーズ業界に革命をもたらしました。最先端・コンテンポラリーを標榜する全 19 隻の保有船が、ノルウェー ジャンのプライベートアイランドのグレートスターラップケイ(バハマ)やハーベストケイ(ベリーズ)を始め、400 もの世界の人気のデスティネーションを隈なく巡っています。ノルウェー ジャンクルーズラインは地上および船上での優れたゲストサービスに加え、受賞歴に輝くエンターテイメントとダイニングオプション、さらには 1 人旅用ステートルーム、クラブバルコニススイート、スパスイート、そしてザ・ヘブン by ノルウェー ジャンと名付けられたラグジュアリースイート専用エリア等の豊富な選択肢でアコモデーションを提供しています。最新ニュースとスペシャルコンテンツは NCL Newsroom。Facebook、Instagram、Tik Tok、YouTube は @NorwegianCruiseLine。Twitter は @CruiseNorwegian。

ノルウェー ジャンクルーズラインはノルウェー ジャンクルーズライン・ホールディングス (NYSE: NCLH) の完全子会社です。詳細は <https://www.nclhld.com/>

画像提供はノルウェー ジャンクルーズライン

【発行元】ノルウェー ジャンクルーズライン PR 株式会社フレア